

## 『探究』し続ける卒業生が語る会

10月8日（金）に現在大学生として探究活動を続ける本校の卒業生からオンライン形式でお話を聞きました。卒業生の方々はそれぞれの方法で、例えば、医療ボランティアや貧困やジェンダーへの支援活動などの「社会貢献」を行っています。自らの生き方を探究する姿勢や社会課題の解決を目指す志を培い、また高校で取り組む「探究」が将来どのように活かされていくのか、ロールモデルを通じて知る機会となりました。



感想：行動→振り返りのサイクルを繰り返すことが大事であることなど、今後の自分達の探究活動に役立てることができるアドバイスを多く得ることができて、とても有意義な時間になりました。

## オーシャンクリーンアップキャンペーン Think Globally, Act Locally.

1年生は「探究基礎」「思考基礎」の授業の一環として、10月12日（火）に根上グリーンビーチで海洋ごみに関するフィールドワークを行いました。ゴミ回収だけでなく、事後には回収したゴミを分析するなどしました。このフィールドワークを踏まえて、さらに10月22日（金）には、各企業・団体の方々を招待し、「海洋ごみ問題」に関わる現状を知るためにパネルディスカッションを啓泉講堂で開催しました。様々な取り組みについて知ること、そこから探究的な学びが広がるのが今後期待されます。



## 京都大学思修館を訪問 研究発表会に向けて京大院生に直接指導を受ける



最高の秋晴れに恵まれ、10月27日（水）に24H生徒は「SG探究」の一環として京都大学大学院（思修館）を訪問してきました。昨年度は新型コロナウイルスの影響でオンライン形式でしか実施できませんでしたが、今回は幸いにも緊急事態制限が解除されたばかりということもあり、日帰りではありましたが京都まで足をのぼすことができました。

今回の訪問では専門研究に従事する大学院生と対面で様々な資料を見ながら議論でき、アカデミックな刺激を得るとともに、自分にとってのロールモデルを発見する絶好の機会にもなりました。また、午後からは京都市内の企業・団体にも足を運び、研究のための広い視野を得ることができました。1月の研究発表会に向けて大きな一歩となる1日になりました。



京都大学吉田キャンパスにて

感想：自分たちの研究の進め方や、最終的な発表をする時のまとめ方に関するアドバイスを貰うことが出来た。今まではとりあえず目の前にあることをひとつひとつやってきたけど、これからは研究の完成形がどのようになるのかも考えながらやっていきたいと思った。

感想：グループディスカッションでは、学ぶ「楽しさ」ってなんだろう？という所をもう一度見直すことができ、自分たちのプロジェクトでやりたいことをはっきりさせることが出来た。「楽しさの分類」とそれに合わせたアプローチ法が大切というアドバイスがとても印象に残った。